

〔様式 1〕

## 事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年5月1日			
平成15年度	事業コード	35210	電話	042-769-8236
担当部課名	経済部	商業観光課	課	観光振興 班
事務事業名	市民まつり開催経費			

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第5章	輝き魅力あるまちづくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第2節	観光の振興と余暇対策の推進	63以前年度
施策名	第1施策	魅力ある観光資源の整備と情報発信	

## 2 実施根拠及び関連法令等

なし
----

## 3 事務の区分

自治事務
------

## 4 経費の区分

その他の経費
--------

## 5 事務事業の分類

市単独事業
-------

## 6 受益者負担

なし
----

## 7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか		(2)対象(誰、何)											
相模原市民のふるさとづくりをテーマに始まったまつりである。市民による手づくりのまつりとして発展定着してきたが、今後は、市民の手による見直し作業を通して、市民主導のまつりとして発展させていきたい。		市民(来場者)											
		対象数	380,000人										
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容													
<ul style="list-style-type: none"> <li>市民まつり開催のための負担金の支出</li> <li>事務局事務</li> </ul> (開催概要) <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>名称</td> <td>第29回市民桜まつり</td> </tr> <tr> <td>開催日</td> <td>平成14年4月6日(土)・7日(日)</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>市役所さくら通り他</td> </tr> <tr> <td>観客</td> <td>38万人</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>約14,200千円</td> </tr> </table>				名称	第29回市民桜まつり	開催日	平成14年4月6日(土)・7日(日)	会場	市役所さくら通り他	観客	38万人	事業費	約14,200千円
名称	第29回市民桜まつり												
開催日	平成14年4月6日(土)・7日(日)												
会場	市役所さくら通り他												
観客	38万人												
事業費	約14,200千円												
(4)個別計画の概要		概要											
計画名	相模原市観光振興計画												
計画年次	14年度～18年度												

## 8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
成果指標								
活動指標	市民まつりの来場者数	前年度の来場者数/当該年度の来場者数(平成12年度を100とする)	市民まつりの実施意義	100	105	95	100	100

## 9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	14,351	15,439	14,726	14,900	15,500
決算(予算)額	14,351	15,439	14,726	14,900	15,500
人員・時間数	5人/4か月	5人/4か月	5人/4か月	5人/4か月	5人/4か月
人件費	14,900	14,900	14,900	14,900	14,900
その他経費					
合計	29,251	30,339	29,626	29,800	30,400
特定財源					
対象数	380,000	400,000	380,000	380,000	380,000
対象の単位あたり経費	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A：達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B：一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C：達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	年々多くの来場者があり、また、参加する人も増えており、事業としても定着している。
(2)必要性 評価 A ▼	A：適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B：一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C：適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	年々多くの来場者があり、また、参加する人も増えており、事業としても定着している。
(3)有効性 評価 A ▼	A：有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B：一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C：有効ではない		
		説明	
(4)効率性 評価 B ▼	A：優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B：一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C：改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
(5)公平性 評価 A ▼	A：公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B：一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C：公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	平成15年度実施のまつりから、まつりの参加意識づけから参加負担金を徴収し、まつりの共通的に係る経費に充てるようにした。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明： 行政主導から市民主導へ移行し、さらに市民の手づくりのまつりになるように検討していく。	手段	事業経費の大部分を市負担金が占めており、毎年、事業経費の見直しをしているものの市負担金への依存度は高い。企業協賛をとらず、一部の参加負担金で運営されているため、現時点での負担金の削減は難しい。
		削減額	千円

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 市民まつりは、「桜まつり」、「若葉まつり」として、歴史とともにその知名度は高く、市民全体のまつりとして、参加団体の代表者による検討が進められている。その中で、まつり参加負担金の徴収等自主財源の確保に努めているが、企業協賛等の財源を導入しなければ、市事業費の削減には結びつかない。
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

実行委員会の活用と、自主財源の確保・拡充について検討すること
--------------------------------